

5

清見潟大学



清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>

Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp



三月二十八日（金）から四月一日（火）まで興津清見寺町で、一閑張の作品展が開催されました。
また、保護ネコ活動のコーナーもあり、早くから賑わっていました。

一閑張
作品展開催

講師の作品



・一閑張
不二見生涯学習交流館
第一（火）十時～十二時
講師 中川昌昭



社会の変化を物証で考える 歴史講座

平成二十一年「歴女」が流行語大賞にノミネートされました。それまでは、男の世界と言われていた戦国武将や刀剣に興味を持つ女性が、だんだん増えてきました。大河ドラマ「どうする家康」が放送されているころは、岡崎城や浜松城周辺に、カメラを持った女性がたくさん歩いていました。

この清見潟にも歴史講座があります。今回はその講師である曾根先生に、お話を伺ってきました。

Q よろしくお願ひします。ところで「歴史」を学ぶ楽しさはどこにあるのですか。



A 時代の移り変わりを見ることです。特定の地域、人物を取り上げていくことはしません。藤枝なら田沼意次。静岡は徳川家康とか。でもそれはドラマだったり小説で作られた姿かもしれません。それよりも遺跡、遺構や遺物といった考古学的遺産に着目して、時代の変化とその背景を探るんです。一つの時代の中でもいくつかに分かれていきます。最近「昭和百年」と話題になりますが、「昭和」も分けられますよね。昭和二十年八月十五日の前と後。何があったかはすぐに分かりますね。そうした時代の移り変わりを見ていくのは楽しいです。何かがあったから今があり、今が

次の時代の元になる。時の流れは細切れではありません。この講座では見る目を養うことを意識しています。



そこに神社がある。神社を見つけただけでは駄目です。「中身」を知ることです。その神社はどこにあるのか。どんな祈りがされていたのか。どんな祭りがあったのか。人々の生活はどうだったのか。

近ごろは家族葬が増えていきますね。いつ頃からでしょうか。その背景には何がありましたか。別に法律で決められたわけでもない。少しずつ増えていきました。未来の人は、この変化をどの様にとらえ調べるんです。

しょうね。静岡新聞の計報欄ですか。(笑い)

そこにある事実から事実へ繋いでいくんです。広く物事をとらえる頭が必要です。

Q 歴史に関心を持ったのはいつ頃ですか。

A 高校生の頃です。よく科学は子供のころから、歴史とそば打ちは定年後などと言うけれど、それは大きな間違い。歴史も学問。奥を見る柔らかい目を持つていううちに始めるのがいいんです。若いころは社会の動きを敏感に感じられます。変化のキーワードを探るのは楽しいですよ。

皆さんも社会の推移をいろいろな方向から探ってみませんか。

- ・静岡の考古学と歴史
辻生涯学習交流館
- 第三(土) 十時〜十二時
・日本古典を読む
辻生涯学習交流館
- 第三(土) 十三時〜十五時
講師 曾根辰雄(両講座とも)

私にも書ける美文字Ⅱ

今年度から袖師交流館で始まりました「私にも書ける美文字Ⅱ」で、なぜ受講を決めたのかお聞きしました。やはり多いのは、字を上手に書きたいからということでした。予想通りですね。名前くらいはきれいに書きたいとおっしゃってました。中には、墨の匂いが好きだからという方もいました。



先生のお話では、書く位置は体の正面。おへその前。二本の指でペンを持ち、卵を包むつもりで書く。小学生は一画、二画と区切るけれども、大人の文字は線を次につなげるつもりで書く、ということでした。



へそ曲がりはどこで書けばいいのなんて、つい思っていました。（へそ曲がりの証拠ですね）



自己紹介も終わりそれぞれが先生の指導で練習。ちょっとしたコツを教わるだけで優しい女性の字。あなたも大人の文字を書きたくなりませんか。



・私にも書ける美文字Ⅱ

袖師生涯学習交流館

第一・三（金）十九時～

二十一時

講師 西島春華

頭の体操の答えは右から食・晩・丸でした。わかったかな。

お知らせ

六月二十二日(日)の幹事会で「幹事会アンケート」を実施します。ご意見のある方は、講座の幹事にお伝えください。

頭の体操

真ん中に入る漢字は何でしょう

事

定

給

餐

一

毎

裸

一

弾

物

給

餐

酌

毎

裸

腰

弾

皆さんわかりましたか。答えは三ページにありますよ。

清見潟川柳

子と寝るは

夢の詰まった ランドセル

春さん

孫

♪ぴっかぴっかの

いっちなんせい

じいじ

♪ぴっかぴっかの

ハゲじいじ
ピカちゃん

陽だまりに

笑顔集める 桃の花

としさん

なぜ急ぐ

風に散りゆく さくら花

梅さん

この浮き輪

夏だけじゃない いつもある

ポヨさん

皆さんの投稿だけが命です。

よろしくおねがいします。

まちの思い出

狐ヶ崎遊園地

有東坂 堀池慶作 さん

狐ヶ崎遊園地ができたのは、わたしが小学校へあがるころだったね。あの辺一面、田んぼだったのを埋めて、斜面を平らにして造ったんだよ。工事に一年以上掛かったけど、その間は、わたしらの格好の遊び場だったね。開園してもしばらくは、近所の人たちに無料パスが出たもんだから、みんなよく行ったっけ。もっとも子供たちは、金網をくぐったり、排水溝から出入りしちゃあったり、



昭和初期の狐ヶ崎遊園地(昭24年)

いたね。

広場には花がいっぱい植わってき、野外劇場ではドイツの水兵さんが演奏したこともあったっけよ。

秋には菊人形も登場し、ほんとうに華やかだったよ。

動物もたくさんいてね、静岡県内には動物園がなかったから動物が珍しくて、遠く浜松あたりからも大勢やってきてね。

清水・静岡間には、今の東海道線のところを市内線のような電車が走っていて、みんなそれに乗って来たんだよ。

狐ヶ崎って名前も、静岡市柚の木あたりの名を持ってきたって聞いたけど、おさるの電車、観覧車、ビックリハウスなんかも人気があったっけ。

旧清水市総務部編集

「まちの思い出」

十六ページより引用

まちの思い出

